

施策の評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け						
政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
	計画	基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード	051339
		施策	39	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	本冊ページ	91
	関連個別計画					
担当部局		政策財務部、健康福祉部、都市計画部、建設部				
施策の内容(番号)		122 ~ 124				

2 「施策の内容」の総合評価と今後の方向性				
番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価		担当課
		選択区分	今後の方向性 選択区分	
122	思いやりや支えあいの心が根付いたやさしい社会を実現するため、市民一人ひとりにとってユニバーサルデザインが特別なものとしてではなく、当たり前のもので浸透し、定着するよう、地域や学校等におけるユニバーサルデザインの普及・啓発を強化します。	A	①	政策課
123	誰もが安心して快適に暮らすことができるまちの実現に向け、ユニバーサルデザインやバリアフリーに配慮した施設や公共交通を含む一体的な都市空間づくりを推進するとともに、自由かつ等しく情報やサービスを受け、誰もがまちづくりに参加できる環境整備を進めます。	A	①	政策課
124	地域や市民との協働による連携の強化を図るとともに、積極的に活動を推進する人材の確保・育成に努め、ユニバーサルデザインの輪が広がる取組を進めます。	A	①	政策課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
 ※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3 「施策」の総合評価			
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評(施策の進捗状況や効果等を端的に記載)
		A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	D	D	A					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け					
政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード 051339122
		施策	39	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	本冊ページ 91
	関連個別計画				
担当部局		政策財務部			
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		122	思いやりや支えあいの心が根付いたやさしい社会を実現するため、市民一人ひとりにとってユニバーサルデザインが特別なものとしてではなく、当たり前ものとして浸透し、定着するよう、地域や学校等におけるユニバーサルデザインの普及・啓発を強化します。		

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	◎ 実施評価	
担当課		何	何のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	◎ 今後の方向性		
122-1	UDネットワーク構築等事業	UDのまちづくりの推進に係る啓発、市内で活動又は活動しようとしている個人若しくは団体のネットワーク化及びネットワークの拡大	効	市民がUDへの理解と認識を深めるとともに、個人若しくは団体との協力体制の構築や新たな人材の発掘につながる	◆ 津市UD連絡協議会が3回以上イベント等へ参加	◎	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が弱まり、イベント等が再開されたことを受け、3年ぶりに事業を実施することができ、津市UD連絡協議会が津まつり、久居まつり及びつ環境フェスタにブース出展して啓発活動を行った。 今後も、市内各所で開催されるイベント等において啓発活動を行う。
	誰		市民	◇ イベント等での啓発物品配布数	○		
	何		UDのまちづくりの推進に向けた機運の醸成に寄与する	149 (千円)	現状維持		
122-2	UD研修会等講師派遣事業	UDへの理解と認識を深めるための研修会等への講師派遣	効	UD講座受講者がUDについて知り、理解を深めることができる	◆ UD講座43回に講師を派遣	△	新型コロナウイルス感染症の影響は令和3年度に比べて弱まったものの、依然として感染拡大防止措置をとる必要があったことから、小中学校等からの講師派遣申請が少なく、派遣実績は当初の事業実施計画に届かなかった。 今後は、コロナの感染症法上の位置付けの変更に伴い講座の開催回数が増加が見込まれることから、引き続き小中学校等からの依頼を受けて講師派遣を行う。
	誰		UD講座受講者(小中学生等)	◇ UD講座受講者を対象としたアンケートの結果	○		
	何		UDの考え方が当たり前ものとして浸透し、定着する	170 (千円)	現状維持		
122-3	UD発表会開催事業	津市UD連絡協議会との共同によるUD講座を受講した小中学生等による発表等	効	UD発表会に来場した地域住民がUDについて知り、理解を深めることができる	◆ 発表会を年1回開催	◎	西郊中学校区人権フェスティバル実行委員会の協力を得て、「2022年度西郊中学校区人権フェスティバル」のプログラムの一部としてUD発表会を開催し、UD講座を受講した片田小学校の児童による発表や、津市UD連絡協議会会長からの講話を行った。 今後も、小中学校等の協力を得てUD発表会を開催する。
	誰		UD発表会来場者(地域住民)	◇ 発表会の来場者数	○		
	何		地域でUDの輪が広がるきっかけとなる	0 (千円)	現状維持		
122-4	UD研修事業	津市職員を対象としたUD研修	効	職員がUDについて知り、理解を深めることができる	◆ 新規採用職員、採用後2年目職員を対象に研修を実施	◎	66人の新規採用職員、65人の2年目職員を対象に研修を実施し、UDへの理解と認識の促進を図った。 今後も、新規採用職員及び採用後2年目職員を対象に研修を実施する。
	誰		職員	◇ 研修レポートの内容(理解度)	◎		
	何		UDの考え方を持って業務を遂行することで、様々な方に寄り添った行政サービスを提供できる	5 (千円)	現状維持		

施策の内容評価シート(令和4年度分)

122-5	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
122-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
122-7	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
122-8	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
122-9	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	D	D	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け					
政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード 051339123
		施策	39	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	本冊ページ 91
関連個別計画					
担当部局		政策財務部、健康福祉部、都市計画部、建設部			
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		123	誰もが安心して快適に暮らすことができるまちの実現に向け、ユニバーサルデザインやバリアフリーに配慮した施設や公共交通を含む一体的な都市空間づくりを推進するとともに、自由かつ等しく情報やサービスを楽しみ、誰もがまちづくりに参加できる環境整備を進めます。		

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	◎ 実施評価	
	担当課		何	誰	◇ 事業評価の主な視点	◎ 今後の方向性	
123-1	UDネットワーク構築等事業	UDのまちづくりの推進に係る啓発、市内で活動又は活動しようとしている個人若しくは団体のネットワーク化及びネットワークの拡大	効	市民がUDへの理解と認識を深めるとともに、個人若しくは団体との協力体制の構築や新たな人材の発掘につながる	◆ 津市UD連絡協議会が3回以上イベント等へ参加	◎	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が弱まり、イベント等が再開されたことを受け、3年ぶりに事業を実施することができ、津市UD連絡協議会が津まつり、久居まつり及びびつ環境フェスタにブース出展して啓発活動を行った。 今後も、市内各所で開催されるイベント等において啓発活動を行う。
	政策課		誰	市民	◇ イベント等での啓発物品配布数	○	
			何	UDのまちづくりの推進に向けた機運の醸成に寄与する	149 (千円)	現状維持	
123-2	UD研修会等講師派遣事業	UDへの理解と認識を深めるための研修会等への講師派遣	効	UD講座受講者がUDについて知り、理解を深めることができる	◆ UD講座43回に講師を派遣	△	新型コロナウイルス感染症の影響は令和3年度に比べて弱まったものの、依然として感染拡大防止措置をとる必要があったことから、小中学校等からの講師派遣申請が少なく、派遣実績は当初の事業実施計画に届かなかった。 今後は、コロナの感染症法上の位置付けの変更に伴い講座の開催回数の増加が見込まれることから、引き続き小中学校等からの依頼を受けて講師派遣を行う。
	政策課		誰	UD講座受講者(小中学生等)	◇ UD講座受講者を対象としたアンケートの結果	○	
			何	UDの考え方が当たり前ものとして浸透し、定着する	170 (千円)	現状維持	
123-3	UD発表会開催事業	津市UD連絡協議会との共同によるUD講座を受講した小中学生等による発表等	効	UD発表会に来場した地域住民がUDについて知り、理解を深めることができる	◆ 発表会を年1回開催	◎	西郊中学校区人権フェスティバル実行委員会の協力を得て、「2022年度西郊中学校区人権フェスティバル」のプログラムの一部としてUD発表会を開催し、UD講座を受講した片田小学校の児童による発表や、津市UD連絡協議会会長からの講話を行った。 今後も、小中学校等の協力を得てUD発表会を開催する。
	政策課		誰	UD発表会来場者(地域住民)	◇ 発表会の来場者数	○	
			何	地域でUDの輪が広がるきっかけとなる	0 (千円)	現状維持	
123-4	UD研修事業	津市職員を対象としたUD研修	効	職員がUDについて知り、理解を深めることができる	◆ 新規採用職員、採用後2年目職員を対象に研修を実施	◎	66人の新規採用職員、65人の2年目職員を対象に研修を実施し、UDへの理解と認識の促進を図った。 今後も、新規採用職員及び採用後2年目職員を対象に研修を実施する。
	政策課		誰	職員	◇ 研修レポートの内容(理解度)	◎	
			何	UDの考え方をもち業務を遂行することで、様々な方に寄り添った行政サービスを提供できる	5 (千円)	現状維持	

施策の内容評価シート(令和4年度分)

123-5	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
123-6	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
123-7	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
123-8	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
123-9	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	D	D	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け					
政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード 051339124
		施策	39	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	本冊ページ 91
関連個別計画					
担当部局		政策財務部			
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		124	地域や市民との協働による連携の強化を図るとともに、積極的に活動を推進する人材の確保・育成に努め、ユニバーサルデザインの輪が広がる取組を進めます。		

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	◎ 実施評価	
担当課		何	何のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	◎ 事業評価	◎ 今後の方向性	
124-1	UDネットワーク構築等事業	UDのまちづくりの推進に係る啓発、市内で活動又は活動しようとしている個人若しくは団体のネットワーク化及びネットワークの拡大	効	市民がUDへの理解と認識を深めるとともに、個人若しくは団体との協力体制の構築や新たな人材の発掘につながる	◆ 津市UD連絡協議会が3回以上イベント等へ参加	◎	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が弱まり、イベント等が再開されたことを受け、3年ぶりに事業を実施することができ、津市UD連絡協議会が津まつり、久居まつり及びつ環境フェスタにブース出展して啓発活動を行った。 今後も、市内各所で開催されるイベント等において啓発活動等を行う。
	誰		市民	◇ イベント等での啓発物品配布数	○		
	何		UDのまちづくりの推進に向けた機運の醸成に寄与する	149 (千円)	現状維持		
124-2	UD研修会等講師派遣事業	UDへの理解と認識を深めるための研修会等への講師派遣	効	UD講座受講者がUDについて知り、理解を深めることができる	◆ UD講座43回に講師を派遣	△	新型コロナウイルス感染症の影響は令和3年度に比べて弱まったものの、依然として感染拡大防止措置をとる必要があったことから、小中学校等からの講師派遣申請が少なく、派遣実績は当初の事業実施計画に届かなかった。 今後は、コロナの感染症法上の位置付けの変更に伴い講座の開催回数が増加が見込まれることから、引き続き小中学校等からの依頼を受けて講師派遣を行う。
	誰		UD講座受講者(小中学生等)	◇ UD講座受講者を対象としたアンケートの結果	○		
	何		UDの考え方が当たり前ものとして浸透し、定着する	170 (千円)	現状維持		
124-3	UD発表会開催事業	津市UD連絡協議会との共同によるUD講座を受講した小中学生等による発表等	効	UD発表会に来場した地域住民がUDについて知り、理解を深めることができる	◆ 発表会を年1回開催	◎	西郊中学校区人権フェスティバル実行委員会の協力を得て、「2022年度西郊中学校区人権フェスティバル」のプログラムの一部としてUD発表会を開催し、UD講座を受講した片田小学校の児童による発表や、津市UD連絡協議会会長からの講話を行った。 今後も、小中学校等の協力を得てUD発表会を開催する。
	誰		UD発表会来場者(地域住民)	◇ 発表会の来場者数	○		
	何		地域でUDの輪が広がるきっかけとなる	0 (千円)	現状維持		
124-4	UD研修事業	津市職員を対象としたUD研修	効	職員がUDについて知り、理解を深めることができる	◆ 新規採用職員、採用後2年目職員を対象に研修を実施	◎	66人の新規採用職員、65人の2年目職員を対象に研修を実施し、UDへの理解と認識の促進を図った。 今後も、新規採用職員及び採用後2年目職員を対象に研修を実施する。
	誰		職員	◇ 研修レポートの内容(理解度)	◎		
	何		UDの考え方を持って業務を遂行することで、様々な方に寄り添った行政サービスを提供できる	5 (千円)	現状維持		

施策の内容評価シート(令和4年度分)

124-5	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
124-6	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
124-7	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
124-8	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
124-9	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	D	D	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

